

【障害者の人権】

問 1 5 障害のある人に関することで、人権上、特にどのようなことが問題だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 就職・職場で不利な扱いを受ける
- 2 スポーツ活動や文化活動に気軽に参加できない
- 3 判断能力が十分でない障害のある人をねらった詐欺などの犯罪が多い
- 4 病院や福祉施設において劣悪な扱いや虐待を受ける
- 5 建物の階段や道路の段差など、外出先での不便が多い
- 6 店や施設の利用、乗車など、サービスの提供を拒否される
- 7 障害のあるなしによって、受けることのできる情報に大きな差がある
- 8 じろじろ見られたり、避けられたりする
- 9 結婚に周囲が反対する
- 10 その他（ ）
- 11 特に問題はない
- 12 わからない

問 1 6 障害のある人の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する
- 2 障害のある人に対する日常生活への支援を充実する
- 3 障害のある人が仕事に就く場所や機会をつくる
- 4 障害のある人に対する虐待などの防止策を徹底する
- 5 製品、設備等をできる限り利用しやすいデザインにすることを目指す考え方（ユニバーサルデザイン）を採り入れた社会環境の整備を進める
- 6 建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める
- 7 障害のある人をねらった犯罪の防止など、障害のある人の権利や生活を守る 制度を充実する
- 8 障害のある人のための人権相談体制を充実する
- 9 障害のある人となない人との交流を促進する
- 10 その他（ ）
- 11 特に必要なことはない
- 12 わからない

障害者 自立と社会参加を支援

障害のある人々の社会参加が進んでいますが、いろいろな場面で障壁（バリア）による不利益があることや、障害者への正しい理解が不足していることによる偏見、差別意識が生じており、まだまだその自立と社会参加が十分とはいえません。

【外国人の人権】

問 1 7 日本に居住している外国人・外国籍市民に関することで、人権上、特にどのようなことが問題だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受け入れが十分でない
- 2 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受ける
- 3 店や施設の利用、サービスの提供を拒否される
- 4 アパートなどの住宅への入居が困難である
- 5 じろじろ見られたり、避けられたりする
- 6 国籍を理由に、結婚に周囲が反対する
- 7 本名を使用することによって差別や不利益を受けることがあるため、やむを得ず通称名を使う人が多い
- 8 その他（ ）
- 9 特に問題はない
- 10 わからない

問 1 8 日本に居住している外国人・外国籍市民の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 国際理解・国際協調の精神を養う
- 2 日本人と外国人・外国籍市民との交流の機会を増やす
- 3 外国人・外国籍市民も、地域社会を支えている一員であるという理解を広める
- 4 不法な就労や雇用などに対する取締りや罰則を強化する
- 5 外国人・外国籍市民のための人権相談体制を充実する
- 6 外国人・外国籍市民が安心して生活できるように、外国語でも情報を提供する
- 7 その他（ ）
- 8 特に必要なことはない
- 9 わからない

外国人 心に物差しをもっていないませんか？

高松市には62カ国3,115人(2007年3月末現在)の方が外国人登録しています。交流を通じて相互理解を進めていますが、言語・宗教・文化・習慣などへの理解不足から、雇用や日常生活などで摩擦が起きる原因となっています。

【ハンセン病患者・回復者の人権】

問 1 9 療養所に入所しているハンセン病患者・回復者が、地域で自立した生活をするために、どのようなことが障害になると思いますか。（○は3つまで）

- 1 じろじろ見られたり、避けられたりする
- 2 就職・職場で不利な扱いを受ける
- 3 家族や親戚から付き合いを拒絶される
- 4 身体に障害があり、身のまわりのことができない
- 5 高齢である
- 6 住宅を容易に借りることができない
- 7 その他（ ）
- 8 特に問題はない
- 9 わからない

問 2 0 ハンセン病患者・回復者の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 ハンセン病患者・回復者のための相談・支援体制を充実する
- 2 ハンセン病に関する正しい知識などの教育・啓発活動を推進する
- 3 ハンセン病患者・回復者が安心して就労できる環境を整備する
- 4 ハンセン病患者・回復者のプライバシーを保護する
- 5 ハンセン病患者・回復者の生活を援助する
- 6 ハンセン病患者・回復者の治療費を援助する
- 7 その他（ ）
- 8 特に必要なことはない
- 9 わからない

ハンセン病患者・回復者 ご存知ですか？

高松市の大島には、国立療養所大島青松園があり、ハンセン病回復者の方々が約140人暮らしています。国によって強制隔離され、子どもを持つことも奪われた人たちで、平均年齢は77歳を越えています。大島青松園で暮らしているハンセン病回復者の方々は、すでに病気は完治していますが、高齢や病気の後遺症、偏見、差別などのために社会復帰が阻害されています。

【H I V（エイズウイルス）感染者等の人権】

問 2 1 H I V（エイズウイルス）感染者等に関することで、人権上、特にどのようなことが問題だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 結婚に周囲が反対する
- 2 職場や学校で不利な扱いを受ける
- 3 病院での治療や入院を拒否される
- 4 店や施設の利用、サービスの提供を拒否される
- 5 悪いうわさや病気に関する情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られない
- 6 日ごろの付き合いを断わられたり、避けられたりする
- 7 その他（ ）
- 8 特に問題はない
- 9 わからない

問 2 2 H I V（エイズウイルス）感染者等の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する
- 2 感染症患者等に対する偏見や差別をなくす教育・啓発活動を推進する
- 3 感染症患者等のプライバシーを保護する
- 4 雇用主に対する啓発を充実するなど、安心して就労できる環境をつくる
- 5 感染症患者等のための人権相談・支援体制を充実する
- 6 その他（ ）
- 7 特に必要なことはない
- 8 わからない

H I V感染者等 正しい知識と理解を！

エイズの原因であるH I Vウイルスは、感染力は非常に弱く、正しい知識と理解があれば、日常生活を共にすることができます。しかし、このような感染症に関する、誤った認識や偏見により、職場での迫害、入園や入学の拒否、医療現場における差別やマスメディアの報道におけるプライバシー侵害などの問題が生じることがあります。こうした、感染症の人に対する偏見や差別を解消するためには、正確な医学情報の迅速な提供とともに、正しい理解をもって患者やその家族の人権に配慮する必要があります。

【インターネットによる人権侵害】

問 2 3 インターネットを悪用した人権侵害で、人権上、特にどのようなことが問題だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 他人を誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう）する表現や差別を助長する表現など人権を侵害する情報を掲載すること
- 2 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
- 3 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること
- 4 ネットポルノが存在すること
- 5 個人情報の流出などの問題が多く発生していること
- 6 その他（ ）
- 7 特にない
- 8 わからない

問 2 4 インターネットを悪用した人権侵害の解決のためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する
- 2 不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する
- 3 プロバイダや掲示板等の管理者に対して、情報の停止・削除を求める
- 4 インターネットにより人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する
- 5 憲法が保障する表現の自由にもかかわる問題であり、慎重に対応する必要がある
- 6 その他（ ）
- 7 特に必要なことはない
- 8 わからない

（注）プロバイダ：インターネットに接続する通信回線を提供する業者

インターネット 便利になった反面…

インターネットを利用し、その匿名性を悪用した人権侵害の情報発信が増えていきます。高松市は、香川県等と連携して、発信停止や削除をプロバイダ等に申し入れるとともに、いわゆるプロバイダ責任制限法の周知にも努めています。

【人権尊重社会実現への取組み】

問 2 5 人権に関する講演会などへ参加したことがありますか。

(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------------|-------|-----------------|
| 1 市や県主催の講演会・研修会 | _____ | } → 問 2 5 - 1 へ |
| 2 学校や P T A 主催の講演会・研修会 | _____ | |
| 3 自治会・婦人会等の主催の講演会・研修会 | _____ | |
| 4 職場での研修会 | _____ | |
| 5 その他 (_____) | _____ | } → 問 2 5 - 2 へ |
| 6 参加したことがない | _____ | |

問 2 5 - 1 問 2 5 で 1、2、3、4、5 のいずれかを選ばれた方にお尋ねします。

その内容について、どのように評価しますか。(○は 1 つだけ)

- 1 人権問題の理解に役立った
- 2 人権問題について多少は知ることができた
- 3 内容がむずかしすぎて、よくわからなかった
- 4 いつも同じような内容である
- 5 内容がものたりなかった
- 6 その他 (_____)
- 7 わからない

問 2 5 - 2 問 2 5 で 6 を選ばれた方にお尋ねします。

どのような理由から参加しませんでしたか。(○は 1 つだけ)

- 1 講演などが開かれていることを知らなかった
- 2 人権問題のことは、よく知っている(参加するまでもないと思う)
- 3 参加しようと思ったが、やむをえない事情のため参加できなかった
- 4 人権問題に関心がない
- 5 覚えていない
- 6 その他 (_____)

問 2 6 人権に関する高松市の条例などをどの程度知っていますか。

(○はそれぞれ 1 つだけ)

	内容も多少は 知っている	聞いたこと がある	まったく 知らない
① 人権尊重都市宣言			
② 高松市人権擁護に関する条例			
③ 高松市人権教育・啓発に関する基本指針			

問 2 7 人権尊重の社会を実現するために、高松市として、どのような啓発広報活動が効果的だと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 テレビ・ラジオを活用した啓発
- 2 新聞広告や記事
- 3 市の広報紙
- 4 映画・ビデオを活用した啓発
- 5 パンフレット・ポスター
- 6 インターネット・Eメール（メールマガジンなど）
- 7 講演会や講義形式の研修会・学習会
- 8 ワークショップ形式（専門家をまじえた少人数の討議・活動）の研修会・学習会
- 9 相互の理解を深めるための交流会
- 10 障害のある人や高齢者などの擬似（ぎじ）体験会
- 11 人権問題をテーマとした展示会
- 12 人権問題に関する小説・作文・標語などの募集
- 13 人権問題をテーマとしたイベント（講演会・コンサート・展示会などを複合的に実施）
- 14 その他（ ）
- 15 わからない

問 2 8 人権尊重の社会を実現するには、市民一人ひとりが、どのようなことを心がけて行動すべきだと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 人権に関する正しい知識を身につけること
- 2 非合理的な因習や風習、誤った固定観念にとらわれないこと
- 3 自分の権利について理解し、正当な権利について主張すること
- 4 自分の権利ばかりではなく他人の権利を尊重すること
- 5 自分の生活している地域を大切にすること
- 6 家庭内での家族の権利を大切にすること
- 7 その他（ ）
- 8 特にない
- 9 わからない

【その他】

問 2 9 【自由記入欄】日ごろ人権問題について考えていることや気付いたことを自由にお書きください。

最後にあなた自身のことについておうかがいします。

○ あなたの性別を（ ）内にご記入ください

（ ）

○ あなたの年齢は（平成１９年８月１日現在の満年齢）

- 1 20～29歳
- 2 30～39歳
- 3 40～49歳
- 4 50～59歳
- 5 60～69歳
- 6 70歳以上

○ あなたの職業は

- 1 農林漁業者（家族従事者を含みます）
- 2 商工・サービス業者（家族従事者を含みます）・自由業
- 3 民間の企業や団体の経営者・管理者（５に該当しない方）
- 4 民間の企業や団体の勤め人（５に該当しない方）
- 5 公務員（公団、公社などの職員を含みます）、教育職員、福祉関係職員、医療関係職員
- 6 その他の有職者（ ）
- 7 家事専業
- 8 学生（受験勉強中の方を含む）
- 9 職業についていない

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、三つ折のうえ、同封の封筒
に入れて折り返しご返送ください。（切手は不用です）
お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。